

プログラム(速報1)				
受付開始	8:30			* 敬称略、代表演者のみ記載 E館1階フロア
開会の挨拶	9:00-9:10	日本薬史学会2023年会長		講演会場：E402
		日本薬史学会会長		土岐 隆信
一般口頭発表	1 9:10-10:05	海外との関わりの歴史		森本 和滋
	O-1	徐福伝説紀行『大塚薬報2022年10月号』より		石田 純郎
	O-2	植民地朝鮮の薬業新聞『京城薬報』について		辻 大和
	O-3	フリードリッヒ二世の医薬法（メルフィー憲法と追補） 第5報		辰野 美紀
	O-4	薬学者J. トロムスドルフと企業家E. メルクについて		中辻 慎一
特別講演	I 10:05-11:05	大阪道修町における香料取扱いの歴史と塩野香料		塩野香料(株)代表取締役会長 塩野 秀作
一般口頭発表	2 11:05-12:00	薬学教育に関わる歴史		
	O-5	明治10年前後の京都における薬学教育		鈴木 栄樹
	O-6	我が国の義務教育における「薬の正しい使い方」教育の経緯と歴史的考察		江戸 清人
	O-7	薬学教育の変遷（2）一薬剤師国家試験と職能評価一		竹内 幸一
	O-8	薬学雑誌を支えた戦前の情報誌『日本薬報』の役割		小清水 敏昌
昼休み休憩	12:00-13:10			
理事会・評議員会	12:05-13:05			E301 教科教育法演習室
特別講演	II 13:10-14:10	諸学問の源泉 津山の蘭学：宇田川家三代と箕作家一族を中心に		津山洋学資料館名誉館長 下山 純正
一般口頭発表	3 14:10-15:45	薬学の発展に関わった人々		
	O-9	内山充先生の遺された思いと言葉を探る（その2）NIHSからCPCまで：使命感と責任感の醸成の視点から		森本 和滋
	O-10	星田千代雄の記録 ー明治時代の大大分県で近代病院薬学を实践した人物ー		五位野 政彦
	O-11	緒方洪庵著「適々齋家室膠柱方」の写本間比較とその意義・特徴		高浦(島田) 佳代子
	O-12	林源十郎商店の企業家活動ー10代および11代当主を中心にー		安土 昌一郎
	O-13	岡山県瀬戸内市・平井家所蔵『銭氏白朮散加減之法』についてー岡山県下の小児医療における地域交流、松原家との関係ー		鈴木 達彦
	O-14	丹波敬三のドイツ留学時代における史料の発見とその調査		高際 麻奈未
	O-15	売薬製造販売業者ホロウェイ夫妻の事績（下）～精神障がい者施設の創設～		柳澤 波香
一般ポスター発表	1 15:45-16:15			
	P-1	正倉院治葛：三斤三両増の謎についての一考察		船山 信次
	P-2	澤野医院記念館に残された医薬品・医療器具の調査研究		桐原 正之
	P-3	マルクス・アウレリウスの『自省録』にみる神谷美恵子の『生きがいについて』ー「葛藤」から「生きがい」へー		宮崎 啓一
一般口頭発表	4 16:15-17:50	薬や医療に関わる歴史		
	O-16	佐渡の宿根木地区で製造・販売された「婦命丹」		西原 正和
	O-17	和種薄荷の歴史		小林 孝也
	O-18	光後玉江の処方録から見る明治期の薬の処方		木下 浩
	O-19	ペニシリンの開発とわが国での製造ー学術記事と新聞記事の紹介ー		木村 丹
	O-20	日本におけるコラーゲンの医療に関わる研究経緯と医療機器の50年の変遷		荒井裕美子
	O-21	抗がん剤のあゆみー内藤記念くすり博物館における企画展図録のための調査まとめ		稲垣 裕美
	O-22	後発品産業をめぐる供給不安の要因と今後の対応について		但野 恭一
次年度会長挨拶	17:50-17:55	日本薬史学会2024年会長		
閉会の挨拶	17:55-18:00			
懇親会	18:15-20:15			